

【研究シーズテーマ】

# 公共空間での行動調査より 施設整備や空間デザインを考える

 工学部 環境土木工学科 准教授 **今川 朱美**

**Keyword**
**ランドスケープデザイン／景観計画／緑化計画**


## 【研究シーズの概要】

河岸緑地や公園など公共空間はどのように活用されているのか、その使われ方を分析すると、空間的要素の不足の有無や、施設整備の必要性などが見えてきます。例えば、写真の基町環境護岸は、「川辺は広島の縁側」とのキャッチフレーズで利用を推進されていますが、利用状況の実態調査は行われていません。そのため、サッカースタジアム建設(計画)時には、本研究で得た成果が役に立ちました。


**図1 基町環境護岸**

©ACTIVE COMMUNITY PARK

画期的な河川景観設計として「土木学会デザイン賞2003受賞」

## 【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 公共空間(公園・河川緑地など)での行動調査に基づく活用状況を分析します。
- 周辺施設を含む現地調査により、地域との連携状態が見えてきます。
- 公共施設整備や管理などのPDCA

## 【産業界での展開・用途】

- 2市町3施設での行動調査の実績があります。
- Park-PFIや指定管理での施設管理計画に役立つデータです。
- 利用者増や滞在時間の延長に有効な手段を見出すことができます。

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963  
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail [kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp](mailto:kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp)